

令和3年度 当初予算テーマ 「人」がつながり活躍する未来

1. 新たな働き方のデザイン

新規	女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業	610万8千円
	農業経営アカデミー推進事業	61万5千円
	ディスカバリー白河農活事業	90万円
継続	サテライトオフィス開設支援事業	266万5千円

2. 子育て世代へのサポート

新規	子ども家庭総合支援拠点スタートアップ事業	100万円
	小さな赤ちゃん親子手帳事業	26万4千円
拡充	こども医療費助成事業	2億8,158万円
継続	白河っ子すくすく赤ちゃんクーポン券支給事業	2,444万円

3. 子どもたちの創造性を育む教育の推進

新規	人権尊重思いやり事業	126万7千円
	白河第五小・信夫第一小学校施設改修事業	1億421万7千円
継続	図書・視聴覚資料等整備事業	3,503万6千円
	学校図書館利活用推進事業	3,363万1千円

4. 心身ともに健康なまちづくりの推進

新規	健康ポイント事業	3,215万4千円
	重度障がい者支援事業	1億1,914万4千円
拡充	高齢者見守り生活支援事業	521万4千円
	地域医療体制支援事業	5,540万円

5. 足元の資源を活かした魅力の向上

継続	清水門復元整備事業	1,306万8千円
	南湖公園史跡整備事業	4,675万1千円
	(仮称) 物産交流センター整備事業	5,823万8千円

6. 暮らしやすい白河の魅力発信

新規	しらかわ移住魅力発信事業	798万円
	「みりょく発信」二地域居住・移住希望者市営住宅提供事業	300万円
継続	来て「しらかわ」住宅取得支援事業	2,160万円
	移住・定住推進事業	1,080万9千円

※主な事業を抜粋

市民の暮らしを守る

＜新型コロナウイルス感染症への対応＞

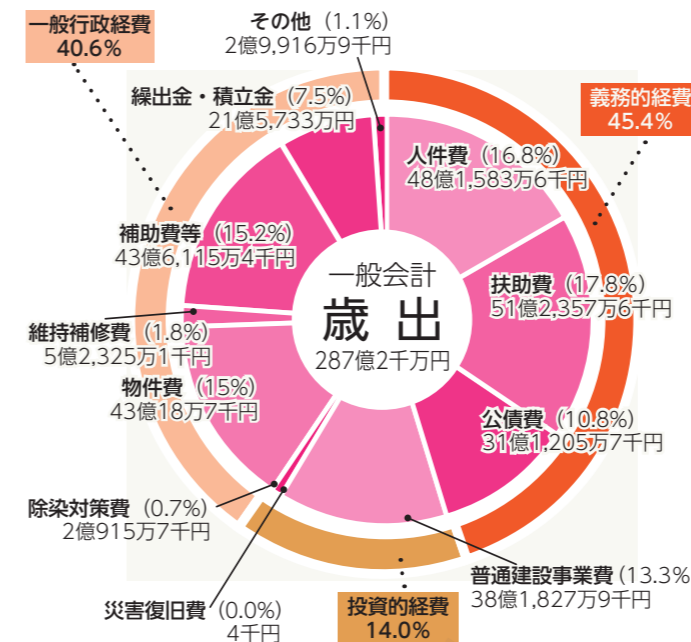
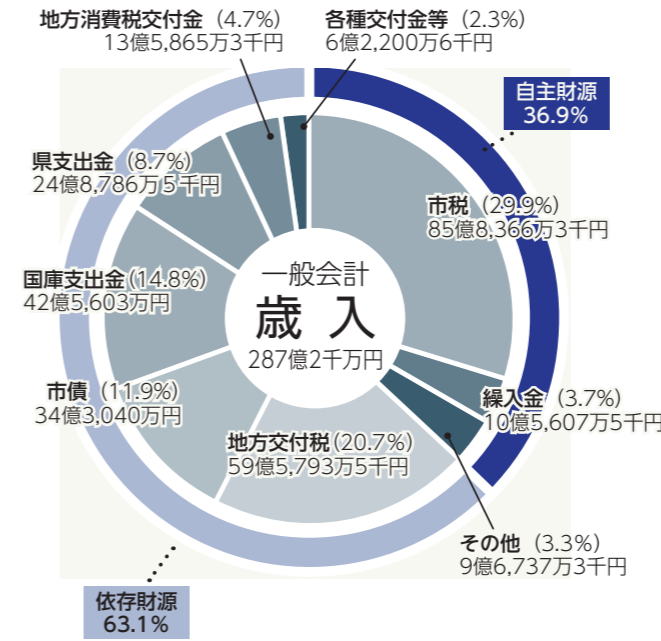
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 2億2,935万6千円
- 発熱外来事業 1,956万2千円
- 新型コロナウイルス感染症検査助成事業 (PCR・抗原検査) 1,200万円

＜防災・減災対策＞

- 緊急浚渫推進事業 1億5,500万円
- 土のうステーション設置事業 430万円

＜安全対策＞

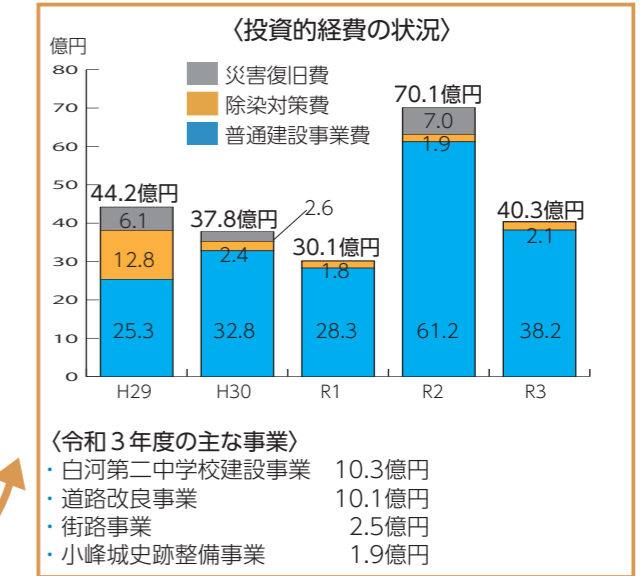
- しらかわセーフロード事業 1億5,000万円
- 消防団装備品整備事業 1,046万9千円



令和3年度 当初予算 一般会計 287億2千万円

今年度の一般会計予算は、本庁舎耐震補強事業など大型事業の終了により、投資的経費が減少したため、前年度に比べ24億円（7.7%）の減の287億2千万円となりました。

コロナ禍での健康や生活の不安解消に向けた幅広い対策はもとより、収束後を見据えた医療・教育の充実、産業・文化の振興、子育て支援に重点を置いた予算としました。



特別会計予算額

会計名	予算額	前年度比 (%)
国有林野払受費	-	皆減
教育財産	-	皆減
小田川財産区	292万1千円	2.4
大屋財産区	39万3千円	△49.6
樋ヶ沢財産区	46万3千円	△1.5
土地造成事業	-	皆減
国民健康保険	56億7,920万9千円	1.2
後期高齢者医療	6億7,426万6千円	1.4
介護保険	57億7,738万6千円	△0.9
地方卸売市場	1,861万7千円	△16.5
合計	121億5,325万5千円	△0.2

※国有林野払受費・教育財産・土地造成事業の3会計は令和2年度で廃止し、一般会計で引き続き事業管理します。

公営企業会計予算額

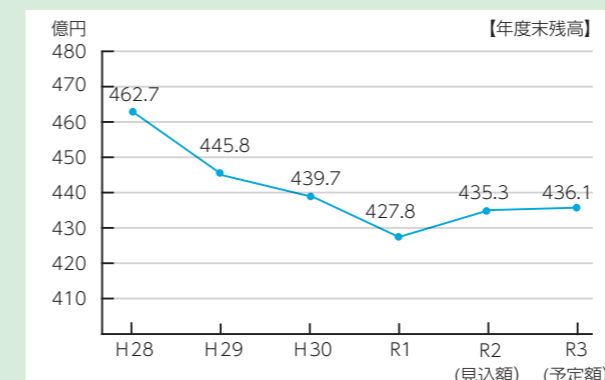
会計名	予算額	前年度比 (%)
水道事業	22億303万2千円	△0.3
工業用水道事業	1億3,125万4千円	3.1
下水道事業	42億8,605万5千円	△1.4
合計	66億2,034万1千円	△0.9

予算や決算の状況は、市ホームページで公表しています。

☎本庁舎財政課 内2357

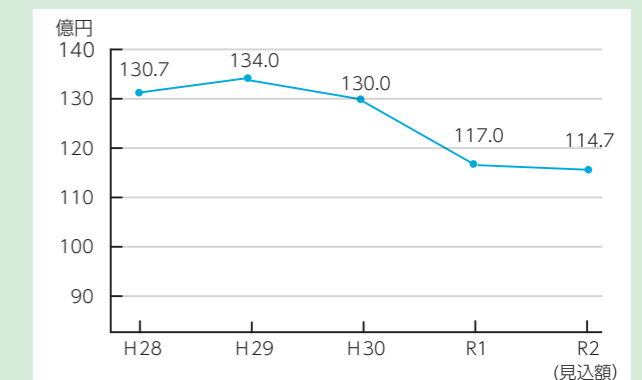


市債・企業債の推移



市の「借入金」に当たる市債（臨時財政対策債を除く）・企業債は、計画的に借り入れと返済を行っています。

基金の推移



市の「貯金」に当たる基金は、住民福祉の向上や教育・文化の振興など、目的に応じて有効に活用しながら、将来の健全で安定的な財政運営のため、着実に積み立てを行っています。